

Maxi-Clean™ カートリッジ利用法 10

時間を短縮してサンプルの前処理を最効率化

Maxi-Clean™ カートリッジには 4mL の SPE カラムと同量の充てん剤が充填され、メソッドを簡単にクロスオーバーさせることが可能です。一本のカートリッジならシリンジで処理し、複数のカートリッジならば減圧処理します。また、異なる種類をつないでマルチステップ抽出をすることも可能です。出入口にキャップをすれば野外標本を持ち運ぶことも可能です。ここでは複雑な抽出や SPE プロトコルに役立つ 10 通りの使用例をご紹介します。

1. 真空マニフォールドで一度に大量のプレコンディショニング

真空マニフォールドを使用すれば多数の Maxi-Clean™ カートリッジを一度にコンディショニングでき、時間と溶媒を節約できます。カートリッジを 2 段にすると、よりスピーディーに処理できます。真空マニフォールドは P. 44 をご参照ください。



2. 4mL カラムのメソッドにそのまま使用

Maxi-Clean™ カートリッジの充てん量は通常の 4mL SPE カラムと同じです。すでに確立されたプロトコルに代替品として簡単に使用できます。



3. 複雑な分離には 2 本のカートリッジをつないで使用

Maxi-Clean™ カートリッジなら 2 種類のフェーズをつないで一度に抽出ができるので複雑な分析にも対応出来ます。必要に応じてフェーズごとに抽出することも可能です。



4. どこにでも溶出

シリンジを使用すれば、検体をどこにでも溶出することが可能です。インジェクションバルブなど、どのような容器にも直接抽出することができます。



ニードルを直接カートリッジに取り付けられ、セプタムや 96-well のシーリングマットを通り抜けて溶出できます。

5. SPE & フィルトレーションのコンビネーション処理

Maxi-Clean™ カートリッジはルア接続なので、シリンジフィルタやフリットつき SPE チューブを装着することで、固相抽出処理の前にサンプル中の粒子を除去することができます。



6. 持ち運びや保存も簡単

出入口にキャップをすれば、検体の入った Maxi-Clean™ カートリッジを持ち運んだり保存しておくことが可能です。コンタミや乾燥の心配もありません。



7. サンプル数に応じた使い分けが可能

サンプルの種類が少ない場合は真空マニフォールドではなくシリンジで処理します。サンプルの種類が多い場合には、エンベリザーバを付けてマニフォールドで同時処理することができます。



8. 分析ラインに組み込み可能

Maxi-Clean™ カートリッジはルア接続なので、低圧の分析ラインに組み込むことができ、サンプル中の汚染成分を除去するガードカートリッジとしても使用できます。



9. サンプルサイズに合わせてカスタマイズが可能

取り付けリザーバのサイズを変えれば、充てん量はそのままでも、Maxi-Clean™ カートリッジを各種サンプルサイズに合わせてカスタマイズすることができます。



10. 豊富なラインナップ

Maxi-Clean™ は、Extract-Clean™ とほぼ同じ充てん剤のラインナップを取り揃えております。

